

危機管理 フォーラム

入場無料

～世界の緊張と足元の災害 いま、私たちにできること～

令和
8年 1.24 土
13:30~16:00 (13:00開場)

申込 方法

裏面の申込方法をご確認のうえ、県電子申請システムまたはメール・FAXでお申し込みください。

会場

石川県地場産業振興センター
(新館)コンベンションホール (地図は裏面)

中継

奥能登総合事務所 42・43会議室
のと里山空港 4F

申込 締切

令和
8年 1月21日(水)

近年、自然災害が頻発・激甚化しており、令和6年1月の「令和6年能登半島地震」、9月の「令和6年奥能登豪雨」も記憶に新しいところです。また、北朝鮮では弾道ミサイルの発射が繰り返されています。こうしたことから、県民の生命、身体、財産を守るために行政をはじめとして県民、地域、企業等が共に力を合わせ、防災・減災の意識を高めることが重要です。

本フォーラムを通じて、防災や国民保護といった「危機管理」における国や自治体、県民等の役割についての理解を深めていただくよう、県民の皆様をはじめ、広く関係機関の皆様のご参加をお待ちしております。

【講演】第1部 国民保護

国際情勢からみるこれからの日本

日本大学
危機管理学部 准教授

なかばやし ひろ のぶ
中林 啓修 氏



【講演】第2部 防 災

能登半島地震に学ぶこれからの防災 ～「平常時」が暮らしと地域を守る力になる～

兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科 教授

さかもと まゆみ
阪本 真由美 氏



略歴

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授。専門は、減災コミュニケーション、防災教育、地域防災。石川県令和6年能登半島地震対策検証委員会委員。博士（情報学）。人と防災未来センター主任研究員、名古屋大学減災連携研究センター特任教授を経て現職。ひょうご震災記念21世紀研究機構理事、日本災害復興学会理事、令和6年防災功労者防災担当大臣表彰受賞。著書に「阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか：被災者支援の30年と未来の防災」慶應義塾大学出版会2024年、「地域が主役の自治体災害対策：参加・協働・連携の減災マネジメント」学芸出版社2025年など。